

令和元年度 東村山市立南台小学校 学校評価報告書

学校教育目標

人間としての調和がとれ、心身ともに健康で、主体的に学ぶことができる児童の育成を目指し次の目標を設定する。

◎ やさしい子 ○ たくましい子 ○ まなびあう子

目指す学校像(ビジョン)

笑顔あふれる南台小 「かよって良かった南台小」毎日が楽しく、安全で学ぶ喜びのある学校 「かよわせて良かった南台小」保護者や地域にとって安心と信頼のおける学校

【目指す学校像】

【目指す児童・生徒像】 笑顔あふれる南台小の子

【目指す教師像】

「謙虚な教師」子供と共に成長する。 「常識的な教師」誠実で礼儀正しく社会人としての常識を備える。

「専門性豊かな教師」自分のキャリアアップを追求する。 「尊敬と信頼される教師」保護者や地域の方々に対して誠意をもって接する。服務規律を遵守する。

前年度までの学校経営上の成果と課題

成果 ・人事考課制度における授業観察を活用した「主体的・対話的で深い学び」の教員の具体的な理解の向上 ・前例踏襲の打破とそれに伴う校務改善。

・富士見町学校・園連絡会による保幼小並びに小小、小中連携の充実。

課題 ・教員の指導力を含めた資質能力の向上、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導力のさらなる向上 ・いじめ0 不登校0の達成。

	具体的方策	第1回評価		課題と対策	第2回評価		課題と次年度以降の対策
		努力目標	成果目標		努力目標	成果目標	
学力向上	○東京ベーシックドリル、東村山市版基礎ドリルの活用と取り出し指導や必要に応じた課外補習の実施	3	1	○習熟度算数担当教諭が、これまで以上に計画的に東京ベーシックドリルを使った復習や補充学習に取り組んだ。しかしながら、目標の80点に到達する児童が大変少なかった。継続的に活用していく。	3	3	○習熟度算数担当教諭が、これまで以上に計画的に東京ベーシックドリルを使った復習や補充学習に取り組んだ結果、目標の80点に到達する児童が大幅に増加した。
	○学習規律など発達段階に応じた全校ルール「南台小スタンダード」の徹底と自己評価活動を明確に位置付けた授業構築	2	4	○「授業が分かりやすい。」と答えた児童が9割を越えている。「南台小スタンダード」が定着し、学習に集中できる環境が各クラスで確立されている。さらに授業改善に取り組み、学力の向上も図っていく。	3	4	○「授業が分かりやすい。」と答えた児童が9割を越えている。来年度は、新学習指導要領に示された主体的・対話的で深い学びのある授業への改善を一層進めていく。
健全育成	○いじめ調査の定期的な実施による早期発見と全校体制での解決	3	2	○4月当初に生活指導主任から、年3回のいじめアンケートの計画案が示され、計画通りにアンケートの実施とその後の聞き取り・確認が行われている。成果目標が低い理由として、「学校がいじめに対する取り組みについて分からない。」と答える保護者が多いことが分かった。取り組みを周知していく。	3	2	○来年度は、学校がいじめに対する取り組みについて、保護者にも分かりやすくするために、いじめアンケートを家庭に持ち帰り実施する。
	○たてわり班活動「にじいろ」や異学年交流「なかよし会」等の活動の充実	4	3	○日頃の「にじいろ遊び」や5月の全校遠足、11月の展覧会における「にじいろワークショップ」、12月の「にじいろまつり」などの取り組みを通して、上学年は下学年のお手本となるように努力し、下学年のあこがれとなっている。友達への思いやりのある態度の育成につながる取り組みである。	3	3	○にじいろペアに感謝の会では、交流してきた異学年の友達に対する感謝とともに、親しみの気持ちをもつ児童が多く、実りのある交流活動であった。臨時休業のため、十分な準備はできなかったが、6年生を送る会を内容を短縮して実施できたことはよかった。
健康・体力づくり	○トップアスリート等を導入した体育の授業実施	4	2	○オリンピック出場経験のある選手の所属する「ゆめおり陸上クラブ」を講師に招いた「かけっこ教室」、女子アイスホッケー日本代表の床姉妹を講師に招いた「体づくりトレーニング」は全校児童が体験した。実施当時の児童の満足度は高かったが、学校評価をする時点で忘れていた児童がかなりおり、成果目標は低くなった。	4	3	○パラ卓球の吉田選手、ゴールボール体験、東村山市体育推進委員の指導によるポッチャ教室など、パラリンピック競技に関する学習を深めることができた。児童からも、パラスポーツへの関心が高まったという感想が寄せられた。
	○家庭と連携した「生活リズム調査」の実施と結果に基づく指導	1	3	○今回、夏休み明けに調査を行わなかった。冬休み明けに実施する予定である。朝食の摂取率については大変高い。朝食をとらないと答えた児童の多くに、家庭に事情がある。学校の方だけの改善は難しい場合、関係機関と連携を取り、家庭への働きかけをしている。	3	4	○「生活リズム調査」を冬休み明けに実施することができた。生活リズムを大切にしている児童や家庭がほとんどであった。今後も、基本的な生活習慣を身に付けられるように、保健指導や日常の生活指導を充実させる。
保護者・地域との連携	○速報性かつ柔軟性のあるホームページの定期的な追加・更新	4	4	○随時、ホームページでの情報提供を行うことができています。保護者からの評価も大変高い。また、39メールでの迅速な情報提供も行うことができています。	4	4	○随時、ホームページでの情報提供を行うことができています。保護者からの評価も大変高い。また、39メールでの迅速な情報提供も行うことができています。
	○地域の人材、教育資源を生かした豊かなかかわりの機会の拡充	4	3	○ふじみ保育園、つばみ保育園、南台幼稚園と1年生が交流授業を実施する。○NPO団体アートフルアクションとの交流授業を全学年で実施し、展覧会に作品を出展した。児童にとって、貴重な経験となる授業であった。	4	3	○ふじみ保育園、つばみ保育園、南台幼稚園と1年生が交流授業を実施した。小学校では、どのような学習や取組があるのか1年生から園児に伝えた。本校の児童にとっても、園児たちにとっても実りのある交流であった。
特色ある学校づくり	○専門家やアスリートを招き、伝統的な文化や本物に触れる機会の設定	4	4	○4年生では、プロの漫才師をゲストティーチャーに迎え、「笑育」を学習した。コミュニケーション力を育成する意味でも効果的であった。○落語家、陸上選手、アイスホッケー選手、和太鼓奏者、箏奏者を招いて、人、文化とかかわる教育活動を進めてきている。	4	4	○5年生が、箏の体験を講師を招き体験できた。隣接する日本体育大学桜華中学校・高等学校の協力で、会場と箏をお借りし、どの児童の実際に箏に触れる時間を多くとることができ、音色の素晴らしさを味わった。
	○地域とのかかわりを深めるボランティア活動の機会の設定	2	1	○富士見町の「長寿を祝う会」で、6年生が長寿を祝うメッセージを伝え、歌と合奏を行った。学校全体としては、ボランティア活動の意図的・計画的な推進が不十分であった。今後、地域とのつながりの中で、子供たちが貢献できる活動を探していく。	3	2	○3学期より、「ふふふ挨拶デー」の挨拶運動に6年生全員が参加することになったが、臨時休業のため、今年度は実施できなかった。○富士見町挨拶運動推進委員会が中心に進めている挨拶啓発ポスターの作成に、本校の児童がボランティアで携わった。